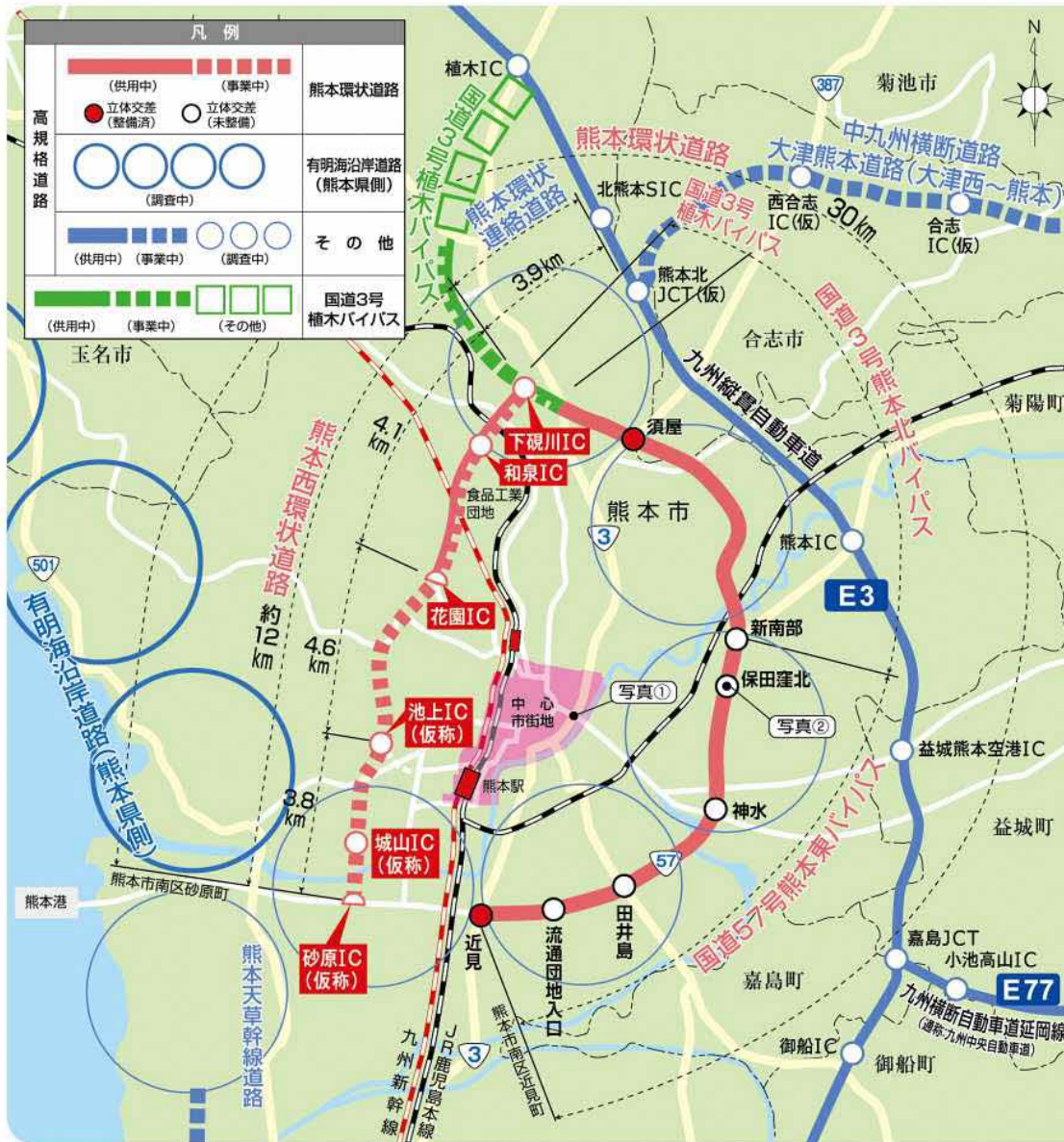


熊本環状道路について

熊本環状道路は、熊本西環状道路、国道3号植木バイパス、国道3号熊本北バイパス、国道57号熊本東バイパスから構成され、熊本都市圏における交通ネットワークの中核をなすものです。このうち熊本西環状道路は、熊本環状道路の西側を構成する新たなルートで、これが完成すると大きな環状効果が期待されます。

熊本環状道路は、慢性的な熊本都市圏の交通渋滞対策として幹線道路に集中する交通の分散化を図り、さらには中九州横断道路や熊本天草幹線道路など、多方面へ延びる道路ネットワークとの連携により、交通渋滞の解消や物流の安定性の確保が期待されます。



環状道路の効果

通過交通の処理
分散導入効果
放射道路の容量拡大



環状道路の主要交差点の立体化



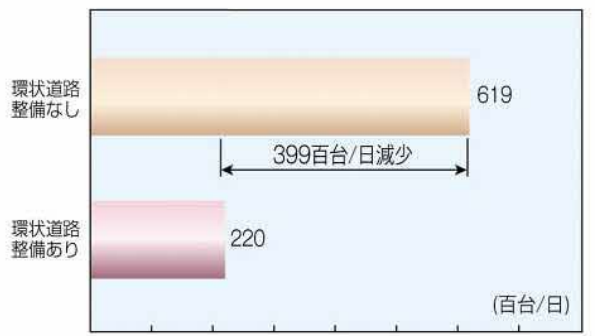
環状道路の整備による効果

■環状道路内側の市街地で通過交通が減少

■市街地内を通過する自動車交通量の比較

●環状道路内側の市街地内を通過する交通が約4万台/日減少します。

●環状道路は、市街地に用いない通過交通を減少させ、交通渋滞の緩和に大きな効果を発揮します。



注1) 市街地内：外環状道路の内側の市街地
注2) 北バイパス、熊本西環状道路の整備の有無による比較



写真① 水道町交差点の交通状況



写真② 保田窪北交差点の交通状況